「週刊エコノミスト」創刊100周年を記念

「エコノミスト未来賞 2023」授賞式、開催！

「週刊エコノミスト」創刊100周年の記念事業として創設された「エコノミスト未来賞2023」の授賞式が、6月25日に東京・千代田区の九段会館で行われた。当日は、ノミネートされた252の企業等から選ばれた15人が出席。各受賞者に記念のトロフィーが贈呈されると、会場はその先駆的な活動や優れた事業を称える大きな拍手に包まれた。

日本のビジネスの未来を創る先駆的な活動や企業を顕彰

「週刊エコノミスト」は今年4月、1923（大正12）年の創刊から100周年を迎えた。その歴史は、マクロ経済を読み解く経済誌として時代の変遷を映し出し、世界経済におけるさまざまな出来事を記録・分析して発信してきた歴史でもある。

この大きな節目に、週刊エコノミストは次の100年に向け新たに二つの事業を始動した。それが、次代を担う子どもたちが「起業」や「仕事」などについて学ぶ「キッズ起業塾」と、今回紹介する「エコノミスト未来賞」だ。

「エコノミスト未来賞」は、週刊エコノミストのブランドサイトで掲載している「ビジネスクロニクル」と「REC」の紹介企業から、日本のビジネスの未来を創造する優れた企業を顕彰する事業。地方創生部門、プロフェッショナル部門、WELL-BEING部門、SDGs部門、プロダクト部門の5部門からなり、第1回となる「エコノミスト未来賞2023」では、ノミネートされた252社から厳正な審査を経て15人が選出された。

独自の事業や挑戦を通し未知の可能性を切り開く

6月25日に東京・千代田区の九段会館で行われた授賞式では、まず発行元である毎日新聞出版の小島明日奈社長が登壇。受賞者に祝意を表した上で、「皆さまには、ぜひ週刊エコノミストとともに、これからの100年に向け日本のビジネスの支えになっていただきたい」と期待を述べた。

続いて5部門の受賞者への表彰式に移り、それぞれの注目すべきビジネスモデルや先進的な取り組みが紹介され、各受賞者に記念のトロフィーが授与された。

各受賞者は、今般の受賞の喜びに加え、将来を見据えた展望や決意をコメント。「人生100年といわれるなかで、後半の50年を裸眼で過ごせる選択肢があることを医師として伝え、そうした未来をつくる仕事を積み重ねていきたい」（戸塚駅前鈴木眼科 鈴木理事長）。「皆が利益を分かち合える『おすそわけ』の機能を組み込んだマーケットプレイス『ツクツク!!!』で、関わるすべての人に持続的な幸福を享受してもらい、事業を通して社会に貢献していきたい」（TSUKU TSUKU 阿比留社長）。「誰もが自分らしく健康で長生きできるための再生医療、そして日本の新しい産業とするための再生医療の土台をしっかりつくり、世界に通用する産業に発展させていきたい」（オーガンテック小川代表）など、一人ひとりから日本の未来を見据えた力強い言葉が聞かれた。

日本の持続的な発展へ次の100年も尽力

今回、受賞された企業の活動は、まさに日本社会の持続可能な発展につながっていくことを実感させるものである。「週刊エコノミスト」は、次の100年も世界の経済の動きを独自の視点で分析し発信するとともに、日本の先駆的な企業の活動の発信にも注力することで、サステナブルな未来の構築に尽力・貢献していきたいと考えている。

「エコノミスト未来賞 2023」各部門 授賞者

地方創生部門	和工房株式会社 代表取締役 松久保 正義氏	たけつな小児科クリニック 院長 竹綱 庸仁氏	鈴興株式会社 代表取締役 鈴木 博彦氏
プロフェッショナル部門	武蔵通商・フェイバリットグループ 代表取締役 澤田 仁氏	医療法人メビア 戸塚駅前鈴木眼科 理事長 鈴木 高佳氏	医療法人社団一仁会 日本橋インプラントセンター 理事長 玉木 仁氏
WELL-BEING部門	TSUKU TSUKU株式会社 代表取締役社長 阿比留 章雄氏	スイミー株式会社 代表取締役 伊澤 祐太氏	株式会社YE デジタル 代表取締役会長 遠藤 直人氏
SDGs部門	株式会社バイオテクノ産業 代表取締役 斎藤 一也氏	さくらいふ株式会社 代表取締役 木村 洸士氏	オーガンテック株式会社 代表取締役 小川 美帆氏
プロダクト部門	Turing株式会社 代表取締役 山本 一成氏	株式会社コムデザイン 代表取締役社長 寺尾 憲二氏	株式会社Macbee Planet 代表取締役 千葉 知裕氏

「エコノミスト未来賞2023」について詳しくは ▶ https://www.weekly-economist.com/mirai-award2023/